日本植物分類学会ニュースレター

No. 99 Nov. 2025

目　次

○ お知らせ
2025 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ・・・・・2
日本植物分類学会　第 25 回大会 (熊本) および
2026 年度総会のご案内　・・・・・・・・・・・・・・・・4
東アジア国際植物分類学シンポジウム 2025 延期のお知らせ・ 7
大阪市立自然史博物館：新刊、 既刊収蔵目録の紹介 ・・7
会費納入のお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

お知らせ

2025 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ

講演会担当委員　横川 昌史

2025 年度の日本植物分類学会講演会を大阪学院大学で開催いたします。 講演会場は十分な広さがありますので（定員 288 名の階段教室）、皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。Zoom でのオンライン配信も予定しています。なお、日本植物分類学会非会員の方でもご参加いただけます。

現地もしくはオンライン参加に関わらず、以下のサイトからの事前登録にご協力ください。参加登録後、オンライン参加用の URL (Zoom) をご登録のメールアドレスに送信します。 期日が近づいてもメールの返信が届かない場合は、ご登録のメールアドレスに誤りがある可能性があります。再度ご登録するか、講演会担当者までご連絡ください。参加者多数の場合は、早期に受付を締め切らせていただく場合があります。

【参加登録】: https://forms.gle/9Ut88T5BuDyRHuWH6

【日時】
2025 年 12 月 13 日（土） 午前 10 時～午後 5 時

【講演会場】
大阪学院大学 2 号館地下 1 階 2 号教室 (02-B1-02 教室)
〒 564-8511 大阪府吹田市岸部南 2 丁目 36 番 1 号（電話 : 06-6381-8434)

【講演スケジュールと演題】
10:00–10:10　ご挨拶　永益 英敏（会長）
10:10–11:00　若林 智美（奈良先端科学技術大学院大学）
「雑草だけど面白い！日本のミヤコグサの多様性と適応進化の仕組みに迫る」
11:00–11:50　吉川 徹朗（大阪公立大学）「多様で柔軟な植物の種子散布のあり方」
（11:50–13:20 昼食）
13:20–14:10　西畑 和輝（兵庫県立大 / 兵庫県博）
「日本のカタシロゴケ科ー派手ゆえに見過ごされた蘚類たちー」
14:10–15:00　厚井 聡　（大阪公立大学附属植物園）「カワゴケソウ科植物の生態と進化」
（15:00-15:10 休憩）
15:10–16:00　西野 貴子（大阪公立大学）「昨日の敵は今日の友ーサワシロギクの内生菌と蛇紋岩適応ー」
16:00–16:50　川窪 伸光（岐阜大学）「花は、なぜ美しいのか？送粉者でない私が花に惹かれる理由を考える」
16:50–17:00　ご挨拶　林 一彦

【会場までのアクセス】
JR 東海道本線岸辺駅、阪急京都線正雀駅から大阪学院大学までともに徒歩 5 分。
交通アクセス http://www.osaka-gu.ac.jp/guide/campus/access.html
キャンパスマップ http://www.osaka-gu.ac.jp/guide/campus/index.html

【参加費】
講演会への参加は無料です。

【懇親会】
講演会終了後、大阪学院大学職員食堂 (17 号 1 階 : 予定) で懇親会を行います。懇親会の参加費は 4,000 円（院生・学部学生には割引あり）を予定しています。参加登録の web フォームで、参加希望に関するアンケートにご協力ください。なお、アンケートの回答に関わらず当日参加も可能ですので、皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

【講演要旨】

「雑草だけど面白い！日本のミヤコグサの多様性と適応進化の仕組みに迫る」

若林智美（奈良先端科学技術大学院大学）

ある生物集団において、より多くの、より質の高い子孫を残す表現型の頻度が高くなることを自然選択と呼び、このプロセスを適応進化という。ミヤコグサは国内では宮古島から利尻島まで広く分布するマメ科の多年生草本である。日本列島は気温や日長などの環境勾配が大きな地域であり、本種は日本各地への分布拡大に伴い各地の環境に適応してきたと考えられる。また、本種はモデル植物の一つとして全ゲノム配列や各種系統などの研究資源が整備されている。本演題ではこれらの研究資源を活用して明らかにした日本のミヤコグサの分布変遷の推定と、繁殖成功に関わる開花時期の種内多型に着目した環境適応に関わる遺伝要因と環境要因の検出について紹介する。

「多様で柔軟な植物の種子散布のあり方」

吉川徹朗（大阪公立大学）

種子散布は植物が空間を移動する主要なプロセスであり、気候変動が進行する現在、その重要性はより一層高まっている。植物の種子には、風を受ける羽根や翼、動物を引き寄せる果肉といった、散布を促す様々な形態が見られる。それぞれの植物種の散布様式は、こうした果実・種子形態に基づいて、風散布や鳥散布などと分類されてきた。しかし近年の研究により、種子散布というプロセスがより柔軟で気まぐれなものであることが見えてきた。例えば、風や水で散布されるはずの種子が意外な動物によって運ばれ、長距離を移動していることもわかってきた。今回の講演では、そうした植物の種子散布の柔軟さを、私自身の研究も交えつつ紹介したい。

「日本のカタシロゴケ科ー派手ゆえに見過ごされた蘚類たちー」

西畑和輝 (兵庫県立大 / 兵庫県博)

カタシロゴケは日本南部のスギの樹幹によく見られる蘚類の一種である。この種を含むカタシロゴケ科は熱帯地域を中心に約 200 種が知られており、特に蘚苔類の種数が少なくなるといわれる低地熱帯林では主要な樹幹着生蘚類として扱われている。カタシロゴケ科は特殊かつ多様な形態的分化がみられ、従来日本で知られていた種の多くは野外での同定が容易であり、分類学的に十分に進んだ分類群とされてきた。しかし、改めて本科に着目して調査を行うと次々と日本で知られていなかった種が発見された。本講演では明らかとなった日本産カタシロゴケ科の種について紹介したい。

「カワゴケソウ科植物の生態と進化」

厚井　聡（大阪公立大学附属植物園）

カワゴケソウ科は、被子植物でありながらコケ植物や海藻のような形態を進化させた水生植物である。雨季は急流中に水没して生育し、乾季になると水上に露出して開花・結実するが、水上では生育できずに乾燥して枯死する。他の被子植物が生存できない過酷な環境にも関わらず世界中の熱帯・亜熱帯に分布を拡大し、約 50 属 300 種にまで多様化している。本講演では、カワゴケソウ科の特殊な生態と、被子植物が共有する形質を放棄した進化の過程を紹介する。

「昨日の敵は今日の友ーサワシロギクの内生菌と蛇紋岩適応ー」

西野貴子（大阪公立大学）

植物と微生物の関係として思い浮かぶのは何だろう。うどんこ病などの病原菌の寄生や、マメ科の根粒菌、またはラン科の菌根菌などの共生を考えるかもしれない。最近では、アーバスキュラー菌根菌（AM 菌）などの、植物の内部で病害を示さない内生菌との共生もよく知られている。こうした協力関係にある内生菌が、新たな環境へと植物が進入するときに、植物の環境への耐性を強めていても不思議ではない。そこで、植物の生育には不適な蛇紋岩土壌に適応したサワシロギクを材料に内生菌を調べたところ、糸状菌（一般的にはカビ）との協力関係が浮かび上がってきた。植物の生態的種分化をカビが後押ししているかも・・・生き物同士の関係はまだまだわからないことだらけ。

「花は、なぜ美しいのか？送粉者でない私が花に惹かれる理由を考える」
川窪伸光（岐阜大学・応用生物科学部）
「花は、なぜ美しいのか？なぜ惹きつけられるのか？」という問に対する、良くある答えは、「花が、美しい色や形を備えていて、香しいからだ」というものです。でも、この答えは、「花が、私たちを惹きつける視覚・嗅覚信号を発している」ことを指摘しているだけです。これは、進化生物学的には根本的な答えにはなっていないと思います。検討したいのは、ある色や形などを、私たち、ヒトは「なぜ美しい」と感じるのか？なのです。その文脈で、「花は、なぜ美しいのか？」を検討したいのです。あなたも、私も、「花が美しい（と感じる）」からこそ、今、ここに居ます。まあ結論は、本講演会に相応しく、進化学的に考えて、植物好きは生き残るということなんですけどね。

【問い合わせ先】
電話：06-6697-6221
代表電話です。植物分類学会講演会についての問い合わせであることを伝えて、担当の横川に繋いでもらってください。
メール：yokogawa@omnh.jp

日本植物分類学会第 25 回大会（熊本大会）および 2026 年度総会のご案内

第 25 回大会会長　副島 顕子

日本植物分類学会第 25 回大会を、 2026 年 3 月 5 日（木）から 8 日（日）まで、 熊本大学黒髪南キャンパスで開催いたします。 現在、 大会に向けて鋭意準備を進めております。 主要な情報は、 今後大会 Web ページを通じて順次公開していく予定です。 皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げております。

【日程】
2026 年 3 月 5 日（木）～ 3 月 8 日（日）

3 月 5 日（木）午後：評議員会（編集委員会は大会会期前に Zoom にて実施予定）
3 月 6 日（金）午前・午後：口頭発表（発表賞エントリー・一般）・ポスター発表（発表賞エントリー・一般）
3 月 7 日（土）午前：口頭発表（一般）
昼休み ランチョンセミナー
午後：総会・授賞式・受賞記念講演・懇親会
3 月 8 日（日）午前：口頭発表（一般）
午後：公開シンポジウム「栽培植物の魅力を探る－ワサビ・イグサ・肥後六花など－（仮題）」

【会場案内】
発表・公開シンポジウム会場：熊本大学黒髪南キャンパス 工学部 2 号館
〒 860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2 丁目 39-1

各種委員会会場：熊本大学黒髪南キャンパス 理学部 1/2 号館 2 階中講義室 (C227)
〒 860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2 丁目 39-1

懇親会会場 ： メルパルク熊本 〒 860-8517 熊本市中央区水道町 14-1

大会会場および関連会場へのアクセス：大会会場である熊本大学黒髪南キャンパスへは、 熊本市内より九州産交バスをご利用ください。 最寄りのバス停は「熊本大学前」です。
各種委員会が行われる理学部棟へは、 その次の「立田自然公園前」が最寄りのバス停となります。
懇親会会場のメルパルク熊本へは、「水道町」のバス停から徒歩約 3 ～ 5 分です。

アクセス情報 ： https://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou（熊本大学公式サイト）

【第 25 回大会 Web ページ】
https://sites.google.com/view/jsps2026/

発表・参加申込および発表要旨提出の方法、 大会プログラムなどを随時アップロードします。

【問い合わせ先】
〒 860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 39-1 熊本大学理学部理学科生物学コース内
日本植物分類学会第 25 回大会実行委員会
E-mail: jsps2026.kumamoto@gmail.com
お問い合わせの際は、 電子メールをお使いください。 メールのタイトルは「大会問い合わせ」としてください。

【発表・参加申込方法】
2025 年 12 月 15 日 (月) より大会 Web ページから申し込みをお願いいたします。 本大会では郵送による申し込みを実施いたしません。
大会には日本植物分類学会会員・非会員を問わずにご参加いただけますが、 口頭発表およびポスター発表の演者 (実際に発表する方) は、 会員に限ります。 非会員の演者 (実際に発表する方) は、 申し込みと同時に日本植物分類学会への入会手続きをお願いいたします。

【大会参加・発表申込および振込の締切日】
1) 演者 (実際に発表する方): 発表・参加申込／大会・懇親会参加費振込
2026 年 1 月 16 日 (金)

2) 演者以外：参加申込／大会・懇親会参加費振込
2026 年 1 月 30 日 (金)
1 月 31 日 (土) 以降は振り込みをせず、 当日参加をご利用ください。

【参加費】
1) 大会参加費 （発表要旨集 1 冊の代金を含む）
i) 事前申込 ： 一般 5,000 円、 学生 3,000 円
ii) 当日参加申込 ： 一般 6,000 円、 学生 4,000 円

2) 懇親会参加費
i) 事前申込 ： 一般 8,000 円、 学生 4,000 円
ii) 当日参加申込 ： 一般 9,000 円、 学生 5,000 円

3) 寄付の受付
第 23 回仙台大会、 第 24 回高知大会に引き続き、 第 25 回熊本大会におきましても、 皆さまからのご寄付を受け付けたいと考えております。 寄付金は、 休憩室での茶菓と飲み物代のほか、 懇親会の補助などに使用させていただきます。
一口 1,000 円として、 口数をご記入の上、 参加費と同じ振込書にてお振り込みください。

4) 発表要旨集のみ ： 1 冊 1,000 円 (郵送費込み)

5) キャンセルポリシー
原則として、 事前参加申込の締切 (2026 年 1 月 30 日) 翌日以降のキャンセルに対しては、 返金いたしません。

【参加費送金先】
郵便振替口座番号 ： 00170-3-767949
口座名義 ： 日本植物分類学会大会実行委員会
本ニュースレターに同封した振込用紙もしくは郵便局に備え付けの振込用紙にて、 振替金額の内訳 (大会参加費、懇親会費、弁当代、寄付金額、発表要旨集のみの代金) を通信欄に記入の上、ご送金ください。 振込手数料はご自身でご負担願います。 振込者と参加者は同一にしてください。 参加申込の際に、 振込日と振込郵便局をご入力いただきますので、 必ず振り込みを終えてから申し込みをしてください。

銀行等から振り込む場合は、 ゆうちょ銀行の受取口座として下記内容をご指定ください。
店名 (店番) ： 〇一九 （ゼロイチキュウ） 店 (019) 預金種目 ： 当座 口座番号 ： 0767949

【大会発表賞のエントリー】**(変更あり！エントリー希望者はよくお読みください)**
大会発表賞へのエントリーは、 パーマネントポストに就いていない日本植物分類学会会員 (年齢制限なし) で、筆頭発表者かつ演者 (実際に発表する方) 本人に限ります。 大会発表賞にエントリーを希望する方は、発表・参加申込の際に該当項目を選択してください。 ただし、 前大会 (第 24 回高知大会) の発表賞受賞者にはエントリー資格がありません。

【口頭発表賞のエントリー数の制限について】**(重要)**
近年の口頭発表賞エントリー数の増加により、 審査の実施が困難になっています。 そのため、 本大会では口頭発表のエントリー数に制限を設けさせていただきます。 原則として先着順といたしますので、 エントリーを希望される方はできるだけ早めにお申込みください。

【ポスター発表賞の事前審査について】**(重要)**
本大会では、 大会発表賞のポスター部門の事前審査を実施いたします。 事前審査のため、 大会当日の約 1 週間前までに、 指定するアップロード先にポスターの PDF ファイルを提出してください。 ポスター PDF の事前提出が締切に間に合わなかった発表は、 審査対象外となります。 詳細は後日、 大会 Web ページおよびメールにてご案内しますので、 提出期限および方法にご注意ください。

【発表要旨の提出】
大会 Web ページの「要旨提出フォーム」へ記入していただきます。 2025 年 12 月 15 日 (月) 以降に大会 Web ページをご確認ください。
※要旨本文の文字数は 650 字以内とし、 例年と大きな変更点はございません。 提出された発表要旨の差し替えは原則受け付けませんので、 提出の前に必ず間違いがないかご確認ください。 なお、 要旨に図・写真・表は含めないでください。
発表要旨締切 ： 2026 年 1 月 30 日 (金) 24:00

【発表の要領】
1. ポスター ： ポスターパネルに貼り付け可能なポスターのサイズは、 900mm (横) × 1500mm (縦) です。 貼り付けのためのピンなどは会場に用意します。 ポスターの貼り付け・取り外し時間については、プログラムにてお知らせいたします。

2. 口頭発表：発表時間は、 講演 12 分、 質疑応答 3 分の計 15 分です。 終了 30 秒前 (14 分 30 秒) に終鈴を鳴らし、 次の発表者への交代がスムーズに行えるようにします。 原則として発表はご自身の PC を使用して行っていただきます。 使用できる PC や接続等については、 大会 Web ページおよびプログラムでお知らせします。

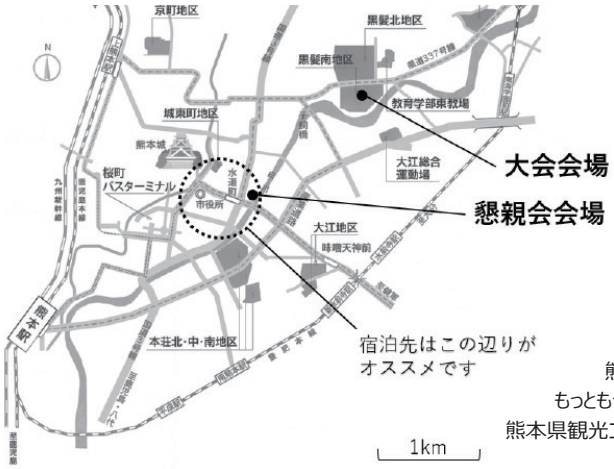
3. 発表資料の作成 ： バリアフリープレゼンテーションに関するサイトを参考にして作成ください (例：https://tsutawarudesign.com/universal.html)。 また希少植物の種の保全のため、 口頭およびポスター発表では要旨を含め詳細な産地情報を伏せるなどの配慮をお願いいたします。

4. 大会実行委員会からのお願い ： 例年、 多数の方が口頭発表を希望されますが、 大会スケジュールの関係で全員のご希望に添えない可能性があります。 口頭発表を希望される方は、 発表申込のフォームで、可能な限り「口頭発表・ポスターのどちらでもよい (できれば口頭発表を希望する)」をご選択ください。どちらでご発表いただくかの決定は、 大会実行委員会にご一任ください。

【昼食】
3 月 6 日～ 8 日の 3 日間、 弁当の予約を承ります。 弁当は日替わりで、 1 つ 800 円です。
弁当の予約を希望される場合は、 参加費と同時に、 同じ振込書で弁当代をお振り込みください。
大会期間中、 熊本大学黒髪南キャンパスの生協レストランは 6 日 (金) のみ営業予定で、 土日は休業となる見込みです。 大学周辺の飲食店は限られていますので、 弁当を予約されない方は、 コンビニエンスストア等で購入のうえご持参ください。 近隣にもコンビニエンスストアはありますが、 徒歩で往復 15 分ほどかかりますので、 できるだけ事前にご用意されることをおすすめします。

【託児について】
本大会では託児室の開設は予定しておりません。 参加にあたり託児が必要な方は、 各自で地域の一時預かりサービス等をご利用ください。

【宿泊施設】
本大会では宿泊施設の斡旋は行いません。 熊本市内には多数の宿泊施設がありますが、 土日は観光客が多く、 直前では予約が取りにくくなります。 また、 例年 3 月には「春のくまもとお城まつり」や関連行事が週末を中心に開催されるため、 交通アクセス・宿泊ともに混雑が予想されます。 早めに各自で宿泊の手配を行っていただきますようお願いいたします。



熊本市観光ガイド ： https://kumamoto-guide.jp
もっともっとくまもっと ： https://kumamoto.guide/spots/
熊本県観光コンベンション協会 ： https://kumamoto-icb.or.jp

熊本大学黒髪南キャンパスへのアクセスに便利なホテルは、 上図の丸で囲んだエリア内に多数あります。 大会主催の懇親会会場であるメルパルク熊本に近接しており、 飲食店や居酒屋も数多くあります。 なお、 熊本駅周辺は会場からやや離れているため、 宿泊地としてはあまりおすすめできません。

東アジア国際植物分類学シンポジウム 2025 延期のお知らせ

国際シンポジウム準備委員長　池田 博

日中韓を中心とする東アジア国際植物分類学シンポジウムについて、 前号のニュースレター (98 号) で今年 12 月の開催とアナウンスしておりましたが、 諸般の事情により延期させていただきます。
新たな日程につきましては、2026 年 4 月 10 日 (金) ～ 4 月 13 日 (月)、会場は中国・昆明市内が予定されています。詳細が分かり次第、 ニュースレター、 学会メーリングリスト、 あるいはホームページでお知らせします。
12 月の開催に向けて準備をされていた方におかれましては誠に申し訳ありません。 また、 新学期早々の開催で慌ただしい時期かと思いますが、 多くの方の参加をお待ちしています。

ご質問等ありましたら、 池田までご連絡ください。
〒 113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1　東京大学総合研究博物館　池田　博　 Tel: 03-5841-2839
E-mail: h_ikeda@um.u-tokyo.ac.jp

大阪市立自然史博物館 ： 新刊、 既刊収蔵目録の紹介

兵庫県立人と自然の博物館　藤井 俊夫

新訂　大阪府植物目録　第 1 巻シダ植物 / 収 : 第 56 集　販売価格 : 1,800 円 (税込) 2025 年 5 月 31 日発行
桑島の「大阪府植物目録」(1990) から 30 年を経て、 刊行された。 巻末に主なシダ植物の標本写真、 生態写真と胞子嚢の写真が掲載されている、 労作です。 今後、 順次裸子植物、 被子植物について刊行予定とのこと。

奈良県産維管束植物標本目録　I. シダ植物 / 収 ： 第 42 集販売価格 : 900 円 (税込) 2019 年 11 月 5 日発行
奈良県は、 1937 年発行の「大和植物誌」以降、 まとまった目録が出版されていない。 上記目録は、 OSA 収蔵の「シダ標本」の目録になり、 標本に基づく確かな文献として利用できる。 発行当時の環境省版、 近畿版、 奈良県版 RDB の階級区分が表示されている。

三木茂博士寄贈水草腊葉標本目録／収 ： 第 41 集 販売価格 ： 1,000 円 (税込) 2009 年 3 月 31 日発行
附 ： 三木茂のタイプ標本画像 CD 。 ミュージアムショップで販売している収蔵資料目録のリスト (通販もあります)
他にも、 昆虫、 鳥、 魚類、 爬虫類、 蘚苔類、 化石、 貝類、 海藻、 花粉、 吉良竜夫コレクション、 など、 分類群別、 収集者別などの収蔵資料目録が販売されている （一部、 絶版もあります）。
https://omnh-shop.ocnk.net/product-list/119

会費納入のお願い

会計幹事　永濱　藍

本会の会計年度は 1 ～ 12 月で、 会費は前納制となっております。 つきましては、 2026 年度の年会費を 2025 年 12 月末までに納付してください。

・同封された振替取扱票 (加盟者名は「日本植物分類学会」) をご利用ください。 25 回大会 (熊本) の振替取扱票 (加盟者名は「日本植物分類学会大会実行委員会」) も同封されていますのでご注意ください。
・本号封筒の宛名ラベルに「納入済年度」とカッコ内に未納会費 (2026 年度分を含む) を赤字で表示しています。 2026 年度分まで納入済みになるよう、「会費」に表示されている金額をお振込みください。「会費」に「自動引落」と表示されている場合、自動振替となります (引落予定日： 2026 年 2 月 26 日)。
・宛名ラベルの下部の記号等 (例 「1000 1 ① A/ 植 /N/ 年 / 大」) は、 配送代行業者の配布物確認用データですのでご放念ください。
・学生会員のうち、 2025 年度に一年会員で入会された方は自動的に 2025 年度末で退会となります。 2026 年度も引き続き、 会員をご希望される場合、 至急、 会計幹事まで連絡頂き、 2026 年度会費の納付をお願いします。 また、 25 回大会 (熊本) に参加される場合は、 2026 年度も会員である必要がありますので、 ご注意ください。
・4 年以上会費を滞納されている方は、 規約第 10 条 (2) に基づき除名を行っております。

ご不明の点があれば、 会計幹事までご連絡ください。
健全な学会運営にご協力いただきますよう、 お願い申し上げます。

◇◇

入会申込、住所変更、退会届、会費納入、購読申込などは下記へご連絡ください。
〒 305 - 0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1
国立科学博物館　植物研究部
日本植物分類学会　永濱 藍（会計幹事）
Phone: 029-853-8423、Fax:029-853-8401
E-mail:　kaikei@e-jsps.com
会　費：一般会員 7,000 円、学生会員 3,000 円、団体会員 8,000 円
郵便振替口座番号：00120-9-41247
加入者名：日本植物分類学会

◇◇

令和 7（２０２５）年 11 月 20 日印刷
令和 7（２０２５）年 11 月 25 日発行

編集兼　滋賀県草津市下物町 1091
発行人　滋賀県立琵琶湖博物館
　　大槻　達郎

発行所　茨城県つくば市天久保 4-1-1
　　国立科学博物館植物研究部
　　日本植物分類学会

＊ニュースレターに掲載された記事の著作権は日本植物分類学会が管理いたします。